



2013年11月6日
東日本旅客鉄道株式会社

東北で復活するSLによる新しい列車「SL^{エスエルぎんが}銀河」

～列車名と客車の車内空間についてお知らせします～

JR東日本では、東北地方にご旅行される多くのお客さまにSLの旅を体験していただくことで、観光面からの復興支援および地域の活性化を目的として、C58 239を復元し、SL牽引の新しい列車をプロデュースしています。

C58 239が牽引する列車の名称と、客車の車内空間の重要な要素であるインテリアおよびエクステリアデザインについてお知らせいたします。

また、車内空間づくりにご協力頂く各ジャンルのスペシャリストの方々についてお知らせします。

東北の旅に新たな魅力をお届けする「SL^{エスエルぎんが}銀河」にどうぞご期待ください。

1. 新しい列車名「SL^{エスエルぎんが}銀河」について

C58 239を復元し運行する列車は、釜石線・花巻～釜石間を中心とした東北エリアで運行する予定です。牽引する旅客車については、釜石線沿線を舞台に描かれた宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」を代表的なテーマとして列車全体をプロデュースしており、宮沢賢治の世界観や空気感、生きた時代を共有する事で東北の「文化・自然・風景」を感じていただける車内空間とする予定です。

このため今回新たに運行する列車の列車名については、「SL^{エスエルぎんが}銀河」といたしました。

2. 列車の仕様と運行について

- 対象車両 C58 239（機関車）／キハ141系（旅客車）
- 列車名 「SL^{エスエルぎんが}銀河」
- 座席 4両編成（機関車除く）／180名（予定）
- 営業開始時期 2014年4月以降に営業運転を予定していますが、具体的な運転日については復元状況をみながら、改めてお知らせします。

- 運行線区 釜石線を中心とした東北エリア
- 運転日 臨時列車として、土休日を中心に年間80日程度の運行を予定しています（釜石行き40日程度、花巻行き40日程度）。

3. 列車内スペースについて

「東北の文化・自然・風景を通してイメージーションの旅へ」をデザインコンセプトとし、先人が造り出したSLや大正ロマンから現代への長いつながりと、宮沢文学のように自然や動物と調和し、互いに尊重しながら共存していくことを感じる空間とする予定です。

- 列車内空間 宮沢賢治の生きた大正から昭和の世界観。ガス灯風の照明やステンドグラス、星座のパーテーションなど、緩やかな個室感と柔らかな光の中でゆっくりと非日常を満喫していただけます。南部鉄器風の鑄肌（荷棚）などディテールには沿線の伝統形状をモチーフに、ここでしか体験できない空間を演出します。
- コンテンツ 列車内のコンテンツは、宮沢賢治関連の展示のほか、沿線や東北ゆかりの品々の展示を予定しています。その他にも小型プラネタリウムや月や星にまつわる展示などを計画中です。



イメージ：列車内空間

ギャラリー（上）、プラネタリウム（下）

現在検討中のイメージイラストであり、今後変更になる可能性があります。

4．客車の外観デザインについて

夜空をイメージしたブルーをベースとし、そこに銀河鉄道の夜に登場する星座や動物をシンボル化し演出する予定です。



イメージ：客車外観 現在検討中のイメージイラストであり、今後変更になる可能性があります。

5．プロジェクトメンバーについて

本列車は、各ジャンルのスペシャリストの皆様にご意見やご協力をいただきながら、ご乗車のお客さまに、東北の文化・自然・風景を通してイメージーションの旅へいざなう車内空間としてプロデュースする予定です。

○デザインプロデュース

・エクステリア・インテリアデザイン KEN OKUYAMA DESIGN 奥山 清行

○コンテンツプロデュース

・宮沢賢治関連の展示 作家・劇作家・演出家 ロジャー・パルバース
資料協力 林風舎
・沿線や東北ゆかりの品々の展示 ファッションジャーナリスト 生駒 芳子
・小型プラネタリウム プラネタリウムクリエイター 大平 貴之
・月や星にまつわる展示 アストロロジーライター S a y a

(敬称略)

列車内スペースのレイアウトイメージ

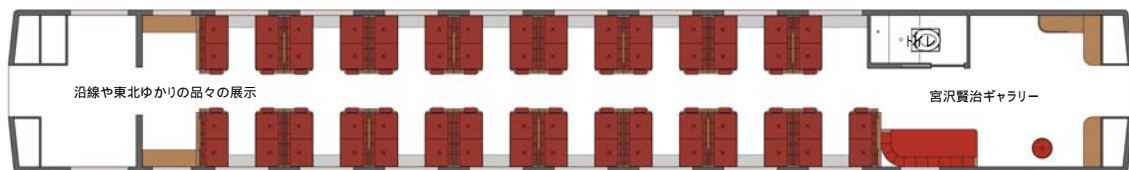
[1号車]・・・宮沢賢治関連の展示など



[2号車]・・・沿線や東北ゆかりの品々の展示、宮沢賢治関連の展示など



[3号車]・・・沿線や東北ゆかりの品々の展示、宮沢賢治関連の展示など



[4号車]・・・小型プラネタリウム、月や星にまつわる展示など



(注1) 現在検討中のレイアウトであり、今後変更になる可能性があります。

(注2) また、上記の各スペース名称等についても現時点では仮称であり、今後変更になる可能性があります。

編成全体のイメージ

車両毎に色のトーンを変えることで（グラデーション） 編成全体を使って銀河ブルーを表現する予定です。



イメージ：編成全体 現在検討中のイメージイラストであり、今後変更になる可能性があります。